



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市中区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

愛知県板金工業組合

青年部

* 第20回通常総会

* 創立20周年記念式典

* 創立20周年記念式典・パーティー

開催する

平成11年4月18日(日)愛知県板金工業組合青年部は、岡崎市・高千穂会館に於いて第20回通常総会・創立20周年記念式典・記念式典パーティーを開催し

第20回通常総会

午後1時より、東三ブロック近藤泰則氏の司会進行で始まった第20回通常総会には愛知県板村上理事・高柳副理事長(青年部担当)・吉田専務理事・二村豊東三ブロック長・高橋銀吾西三板金連合会副会長(青年部担当)が来賓として臨席されました。河田雅彦青年部長の挨拶につづ

き村上理事長・二村東三ブロック長より来賓の挨拶をいただきました。西三ブロック刈谷支部の望月克治氏を議長に選出し議案審議に入り第1号議案より第6号議案までスムーズな審議で可決承認されました。其中で西三ブロック安城支部の岩崎崇氏が新部長として紹介されました。議案審

議終了後、県板青年部技能競技大会及び建築技術コンクールの入賞者表彰が行われ左記の方々に村上理事長より表彰上とトロフィーが渡されました。

《技能競技大会》

最優秀賞 酒井克幸君(安城)

優秀賞 砂塚耕二君(岡崎)

優秀賞 北川秀治君(東三)

《建築技術コンクール》

最優秀賞 藤井秀幸君(東三)

優秀賞 宇野勝義君(岡崎)

優秀賞 片山匡裕君(岡崎)

続いて第21回全国建築板金競

技大会『技能競技の部』及び『建築技術の部』審査結果発表が左記の様にありました。

『技能競技の部』

第6位 全板連青年部長賞

砂塚耕二君(岡崎)

『建築技術の部』

第4位 鳥取市長賞

藤井秀幸君(東三)

第6位 全板連青年部長賞

宇野勝義君(岡崎)

最後に青年部役員を退任する河田・前部長以下4名に岩崎部長より感謝状が渡されました。

創立20周年記念式典

記念式典は総会と同じ会場午後2時15分より開会されました。司会進行は総会と同じく東三ブロックの近藤泰則氏が担当しました。書記の西川喜久男氏の開会の辞、岩崎崇・新部長の挨拶、幹事・沼沢恒一郎氏による来賓40名の紹介と続いた式典は愛知県中小企業団体中央会青年部副部長 滝幹夫様、全日本板金工業組合青年部並びに社団法人日本建築板金協会青年部部長 野満年成様、愛知県板金工業組合理事長 村上章様のお三方より、ご祝辞をいただいた後つづいて祝電が披露されました。

今回の記念式典は東三ブロックでの開催というこ

記念式典パーティー

式典終了後、十五時十五分より会場を三階に移してパーティーは開会しました。

司会進行は東三ブロックの小山高広氏が努めました。河田・前部長の開会の辞、松井実行委員長の開演の挨拶の後、愛知県板金工業組合前理事長・相談役・平野弘様よりご挨拶をいただきました。次に、中部板金工業組合

とで青年部が日頃よりお世話になっており、また銅板による素晴らしい作品を製作していただける(尚)建造の馬場喜郎様の作品を特別展示させていただくと共に馬場様のご挨拶を頂戴しました。最後に監査役・小木曾重男氏の閉会の辞により記念式典は終了しました。

なお、20周年を記念して左記の方々に感謝状と記念品が岩崎部長より渡されました。

青年部担当 高柳一男様
青年部担当 高橋銀吾様
第四代部長 野田和彦様
第五代部長 林 雅彦様
第六代部長 松井 繁様
第七代部長 神谷 聡様
第八代部長 松井祐治様
第九代部長 河田雅彦様



▶ 記念式典

愛知県板金工業組合青年部 第20回総会



愛知県板金工業組合青年部

総会であいさつする
岩崎新部長



豊田 松井

名古屋板金連合会 通常総会開催

桜も終って、ツツジが咲き始めた4月17日(出)、名城公園近くの「名城会館」において名古屋連合会の平成11年度通常総会が開催された。

午後5時開会、村上卓板理事長、吉田事務はじめ、問屋会メーカー商社の出席を頂き、恩田副会長の司会により始まり、驚見連合会長の任期満了(2年間)に伴う挨拶の後、議事に入った。

1号議案(平成10年度事業報告、及び決算報告)が行われた。(主な事業報告)

平成10年5月23日(出)

10年度通常総会

(名古屋弥生会館)

平成10年6月16日(出)

名古屋会館ゴルフコンペ

(富士カントリー)

明智ゴルフクラブ

10月24日(出)

尾張名古屋の職人展参加

(吹上ホール)

11月11日(出)

工場見学(日金工衣浦工場及びマキタ岡崎工場)

平成11年1月16日(出)

新年安全祈願祭

(熱田神宮)

1月31日(出)

新春板金セミナー

(県貿易会館西館)

2号議案(役員任期満了に伴う役員改選)の件が審議され、全会一致により現役員留任で承認された。

3号議案として、新年度事業方針「組合員相互の意志の疎通と連帯感の強化を目指すし、事業活動の推進を図る」と(平成11年度事業計画案及び予算案)が報告された。

4号議案(その他)として昨年度、好評だった工場見学を、より一層充実したも

のし、レクリエーションとして、ボーリング大会の実施、などの事業予定が出された。

最後に来賓として県議員杉山登氏が挨拶され閉会した。続いて懇親会に入り、メー

カー商社、問屋会を交えての腹を割っての意見交換、親睦にと、時間の経つのも忘れる程の懇親会を終了した。

出席者、「商社、問屋会」を含め(五十名)

(熱田、南) 伊藤

東三板金工業組合 第六十回 通常総会

四月四日(日)第六十回通常総会が豊橋市「高千穂会館」にて村上理事長、マルサン金属建材(株)鈴木社長の御出席を賜り、組合員六十名の出席にて開催されました。

議案審議は第一号議案より第七号議案まではばスムーズに進みました。今年は役員改選の年に当たり、二村豊氏が組合長に選出されました。不況の風が吹く中、全板大会、来年度の新年会等が控える中東三においては最適な人材が配置されたと自負して良い。

「天は行動を行さないう者に救いの手を差し出さない」と抱負を述べられた。

村上理事長は東三の専門校に新入生が0人と聞かれ全板へ補助金等出来るだけ働き掛けたい、全板ノート、保証制度の拡充と挨拶された。

四月四日(日)第六十回通常総会が豊橋市「高千穂会館」にて村上理事長、マルサン金属建材(株)鈴木社長の御出席を賜り、組合員六十名の出席にて開催されました。

議案審議は第一号議案より第七号議案まではばスムーズに進みました。今年は役員改選の年に当たり、二村豊氏が組合長に選出されました。不況の風が吹く中、全板大会、来年度の新年会等が控える中東三においては最適な人材が配置されたと自負して良い。

「天は行動を行さないう者に救いの手を差し出さない」と抱負を述べられた。

村上理事長は東三の専門校に新入生が0人と聞かれ全板へ補助金等出来るだけ働き掛けたい、全板ノート、保証制度の拡充と挨拶された。

四月四日(日)第六十回通常総会が豊橋市「高千穂会館」にて村上理事長、マルサン金属建材(株)鈴木社長の御出席を賜り、組合員六十名の出席にて開催されました。

議案審議は第一号議案より第七号議案まではばスムーズに進みました。今年は役員改選の年に当たり、二村豊氏が組合長に選出されました。不況の風が吹く中、全板大会、来年度の新年会等が控える中東三においては最適な人材が配置されたと自負して良い。

「天は行動を行さないう者に救いの手を差し出さない」と抱負を述べられた。

村上理事長は東三の専門校に新入生が0人と聞かれ全板へ補助金等出来るだけ働き掛けたい、全板ノート、保証制度の拡充と挨拶された。

四月四日(日)第六十回通常総会が豊橋市「高千穂会館」にて村上理事長、マルサン金属建材(株)鈴木社長の御出席を賜り、組合員六十名の出席にて開催されました。

議案審議は第一号議案より第七号議案まではばスムーズに進みました。今年は役員改選の年に当たり、二村豊氏が組合長に選出されました。不況の風が吹く中、全板大会、来年度の新年会等が控える中東三においては最適な人材が配置されたと自負して良い。

「天は行動を行さないう者に救いの手を差し出さない」と抱負を述べられた。

村上理事長は東三の専門校に新入生が0人と聞かれ全板へ補助金等出来るだけ働き掛けたい、全板ノート、保証制度の拡充と挨拶された。

四月四日(日)第六十回通常総会が豊橋市「高千穂会館」にて村上理事長、マルサン金属建材(株)鈴木社長の御出席を賜り、組合員六十名の出席にて開催されました。

議案審議は第一号議案より第七号議案まではばスムーズに進みました。今年は役員改選の年に当たり、二村豊氏が組合長に選出されました。不況の風が吹く中、全板大会、来年度の新年会等が控える中東三においては最適な人材が配置されたと自負して良い。

「天は行動を行さないう者に救いの手を差し出さない」と抱負を述べられた。

村上理事長は東三の専門校に新入生が0人と聞かれ全板へ補助金等出来るだけ働き掛けたい、全板ノート、保証制度の拡充と挨拶された。

四月四日(日)第六十回通常総会が豊橋市「高千穂会館」にて村上理事長、マルサン金属建材(株)鈴木社長の御出席を賜り、組合員六十名の出席にて開催されました。

議案審議は第一号議案より第七号議案まではばスムーズに進みました。今年は役員改選の年に当たり、二村豊氏が組合長に選出されました。不況の風が吹く中、全板大会、来年度の新年会等が控える中東三においては最適な人材が配置されたと自負して良い。

「天は行動を行さないう者に救いの手を差し出さない」と抱負を述べられた。

村上理事長は東三の専門校に新入生が0人と聞かれ全板へ補助金等出来るだけ働き掛けたい、全板ノート、保証制度の拡充と挨拶された。

四月四日(日)第六十回通常総会が豊橋市「高千穂会館」にて村上理事長、マルサン金属建材(株)鈴木社長の御出席を賜り、組合員六十名の出席にて開催されました。

議案審議は第一号議案より第七号議案まではばスムーズに進みました。今年は役員改選の年に当たり、二村豊氏が組合長に選出されました。不況の風が吹く中、全板大会、来年度の新年会等が控える中東三においては最適な人材が配置されたと自負して良い。

「天は行動を行さないう者に救いの手を差し出さない」と抱負を述べられた。

村上理事長は東三の専門校に新入生が0人と聞かれ全板へ補助金等出来るだけ働き掛けたい、全板ノート、保証制度の拡充と挨拶された。

カー商社、問屋会を交えての腹を割っての意見交換、親睦にと、時間の経つのも忘れる程の懇親会を終了した。

出席者、「商社、問屋会」を含め(五十名)

(熱田、南) 伊藤

副組合長 松下 博 保

山下 修 一

居平 義 和

菅沼 秀 行

書記 近藤 泰 則

今後二年間よろしく願います。

東三 吉田

豊田板金工業組合

平成十一年度第四十三回総会

平成11年4月2日(金)平成十一年度豊田板金工業組合の定時総会が豊田市小坂本町の「豊田産業文化センター」4階視聴覚室に於いて開催されました。三浦誠治氏の司会により開会した総会は、西保組合長の挨拶の後、来賓挨拶を県板 吉田事務理事、高柳一男 西三板金連合会副会長、長谷川賢市 豊田職業訓練校校長、横山興業(株) 加納所長にいただきました。続いて奥田頌氏を議長に選出して議事に入り平成十年度事業報告、会計報告、会計監査報告の後平成十一年度事業計画案及び予算案が可決承認されました。

次に役員改選が提案され西保組合長以下前役員がそのまま再選されました。

議案審議終了後、各報告事項の発表となり技能士会報告、豊田高等職業訓練校講師報告青年部報告がありました。新入会員1名の紹介、本年度班長さんの発表の後、最後に感謝状の贈呈があり総会は終了しました。続いて会場を1階のレストランに移して懇親会がおこなわれ、久日に見る顔と美味しいお酒を酌み交わし、いろいろな話に花を咲かせているうちにお開きの時間となりました。

豊田 松井

東三支部新組合長 二村 豊氏

第六十回 通常総会式次第

一 開会の言葉

二 報告(来賓、関係機関等)

三 事業報告(組合員相互の意志の疎通と連帯感の強化を目指すし、事業活動の推進を図る)

四 役員改選(役員任期満了に伴う役員改選)の件が審議され、全会一致により現役員留任で承認された。

五 新年度事業方針「組合員相互の意志の疎通と連帯感の強化を目指すし、事業活動の推進を図る」と(平成11年度事業計画案及び予算案)が報告された。

六 その他(その他)として昨年度、好評だった工場見学を、より一層充実したも

七 閉会の言葉

八 来賓挨拶

九 懇親会

十 閉会の言葉

東三支部新組合長 二村 豊氏

第六十回 通常総会式次第

一 開会の言葉

二 報告(来賓、関係機関等)

三 事業報告(組合員相互の意志の疎通と連帯感の強化を目指すし、事業活動の推進を図る)

四 役員改選(役員任期満了に伴う役員改選)の件が審議され、全会一致により現役員留任で承認された。

五 新年度事業方針「組合員相互の意志の疎通と連帯感の強化を目指すし、事業活動の推進を図る」と(平成11年度事業計画案及び予算案)が報告された。

六 その他(その他)として昨年度、好評だった工場見学を、より一層充実したも

七 閉会の言葉



▲ 懇 親 会 風 景

▼新間屋シリーズ▲

愛知県垂鉛鉄板間屋会

会員会社紹介

第二十六回 (株) 吉田商店 最終回



▶代表取締役社長

吉田 博氏

足かけ四年をかけ愛知県垂鉛鉄板間屋会の会員会社を五十音順で紹介してきたが今回で最後となる(株)吉田商店を紹介する。

(株)吉田商店は大正八年に柳橋交差点の西、最初の道を南に入った中区弥宜町(現在は中村区名駅南一)で吉田藤七氏が「洋鐵及垂鉛引平板商」として創業した。その後、屋号を吉田藤七商店と改め遠くは根羽村方面まで手広く商いをしていた。馬車馬時代で当時の伝票には平板二十八番一枚一円十四銭とある。

藤七氏は義兄伊藤久次郎氏の長男敏夫氏を吉田藤七商店の大番頭に据え次男の二郎氏(後の伊藤二郎商店創業者)も迎え入れた。藤七氏は跡継ぎに恵まれず伊藤二郎氏の弟

現在地に移した。
二代目吉田登氏は平成八年五月七日に急逝され現在は吉田勝彦氏が三代目を引き継いでいる。

登氏の兄、伊藤二郎氏も翌六月二十六日に他界された。以下に会社の概要を紹介する。

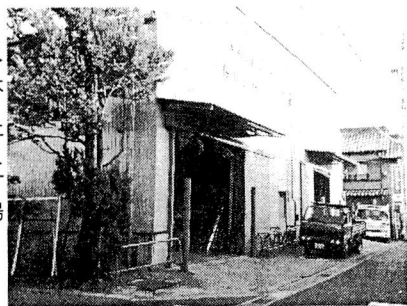
商号 株式会社 吉田商店
創業 大正八年
創業 吉田藤七

創業地 昭和十二年十一月亡
名古屋市中区弥宜町三丁目六番地

会社設立 昭和二十六年十月
代表取締役社長 吉田勝彦

昭和二十八年十月九日生
本社所在地 海部郡大治町西
条字城前田十九ノ二十五
資本金 三千万円
営業品目 カラー鉄板及外
装建材一式

以上 驚見



▶本社工場

●●●山善会総会旅行●●●

山善会総会旅行が4月13日(14日)に行われた。オーティス、東洋科学、タニタハウジングウェア、大洋製鋼など賛助会員さんの参加で、淡路島神戸市内散策の旅に出かけた。

山善会会長の齊藤充昭氏がバスの挨拶の中で「平成7年度に阪神淡路大震災があったがその年の山善旅行の際、大洋製鋼さんの協力で視察をしたが、今回の旅行はその後の復興ぶりも見所だ」と言われた。

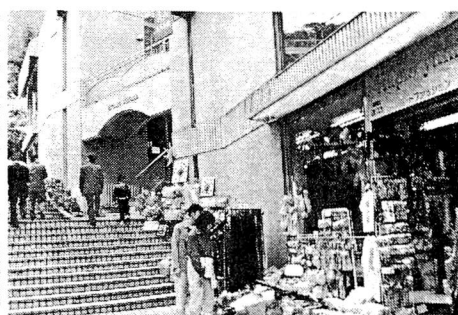
13日は神戸、北野の異人館街を散策し、明石海峡大橋を渡り、北淡町震災記念公園を見学した。神戸は震災時と違い、建物など外見上には傷跡がなかった。北淡町震災記念公園では、断層が建物で覆われ、保存されていたが「建造物は大地の上に浮かんでいる様な物だ」と授業で教わった事を思い出す。記念公園の隣の家は、当時テレビで紹介されたが、近く記念館として買

い取られるそうだ。午後5時に洲本温泉のホテルに着き、第18回山善会総会を行った。議題は会計報告と、役員報告。今年3月29日に亡くなった津坂昌宏氏に代わって、名古屋地区役員に松代一郎氏が選出された。総会の会長の挨拶の中で、津坂氏の労をねぎら

い、津坂氏の死はとても残念とお言葉。「齊藤会長は平成大不況は政府の責任が大で我々は選挙の際には、しっかりと代表者を選ばなければならぬ。愛知県には万博・中部国際空港の大型プロジェクトがあると言うが、景気は全体の問題で、はたしてただで愛知県の景気が単純に良くなるものか。昨今のゼネコンや銀行は、程度が悪い。特にゼネコンの企業資質は最低である。この様な不況の中で我々のなすべき事は健康である事、情報や知識の修得、仲間と力を合わせる事。山善さんの売り上げに協力して欲しい」との事。

食事だった。店内の壁にはクランク(ひび割れ)が多くあったが地震の傷跡だそう。帰りのバスで以前、山善会の有志でドイツのロマンチック(ローマ風の)街道、ミュンヘンの旅行のビデオを放映され、懐かしかった。

西尾 大橋



▲異人館のある街散策



▲風見鶏の館

今日は一番いい日

売れない厳しい時代といわれます。しかし、必需備品でもない？紙裁断機シュレッダーを売りまくる明光商会社長の高木禮二さんは、「どんな時代でも売れる人は売り、売れない人は売れない。ただ不景気は、よく売れる人が少なくなる、売れない人が多くなるだけだ」といいます。

いつの時代でも売れる人になることが大切ですが、そのためにはどんなことを心がけたらよいでしょうか。高木さんがそれこそ必死でセールスに取り組み、売れる人になった秘訣は、毎朝目が覚めたら、「今日は一番いい日だ」と強く思い、そうした意識で一日を行動することでした。高木さんはいまでも毎朝、鏡に向かって歯を磨きながら、リズムをつけて、「昨日は終わった、きょうという新しい日に挑戦だ、きょうは素晴らしい日にするんだ」と言い聞かせて、職場に向かうそうです。もちろんつらい日も、いやな日もあります。しかし、一ミリでもいいから前に出ようと、今日は誕生日、あしたはクリスマス、あさっては正月、自分で毎日一番いい日と決

め、「おはよう／＼」「こんにちは／＼」といって、じぶんでも明るくしていくのです。仕事も人生も毎日の積み重ねです。毎日を一番いい日にしていきましよう。

この一説は友人にすすめてられて購入した。月刊仕事の記録帖四月号の中より抜粋したものです。予定表、繁盛計画表、繁盛習慣表、問題解決表、繁盛の基本、一日／＼三十一日まで毎日「今日は一番いい日」のようなすばらしい言葉がのっている、職場の記録、仕事の記録、私の歴史で締めくくつてある。

いまでもいろいろな手帳を手にした(ポケット用、年間用)月刊でこれほど安くて、充実した内容のものはなかなかです。社員全員に持たせたら意識改革が芽生えるかも。ぜひおすすめしたい。

月刊 仕事の記録帖
発行所 文明出版社
住所 鎌倉市大町一―一六
―三―
TEL 〇四六七―二四―二一〇七
定価 三八〇円
書店販売はしていない。

パパ

交通事故について

いくら自分が気を付けていても、相手のあることであり、交通事故はおきてしまう事がある。私は、さる1月25日に交通事故を起こしてしまいました。見通しが悪く、カーブを曲って10m前方の自転車に乗った方を発見しましたが、時速45kmくらいのスピードを出して、雨もふっていましたので、間に合わず、衝突してしまいました。幸い入院する事もなく、その日のうちに自宅まで送って行きました。次の日検査の結果異常なしとの

4月各支部の動き

名古屋板金連合会	17日 総会	60名
昭和支部	8日 支部例会	13名
熱田南支部	10日 定例会	
16日 青年部会合		
小牧支部	10日 会合、夕食会	10名
西春支部	11・12日 支部総会	
伊豆下田		25名
津島支部	5日 定例会	9名
岡崎支部	24日 役員会	29名

事、診断書は打撲1週間と書かれてありました。1週間して警察に行き色々と聞かれまして、私の方には、免許、罰金もなしとの事、ほっといたしました。事故の事を考えるに、スピードは控え目、カーブの手前では十分な減速に心がけ、交差点、三叉路、住宅街道路では徐行運転に心がければ、事故はかなりさけられるのではないかと思います。組合員の皆様も気を付けていただきたいと思います。 岩室 鐔

編集後記

野も山も公園も、絢爛豪華な春一色で人々の心を浮き立たせてくれた桜の開花も、あつという間に過ぎて鮮やかな新緑の頃となった。

「目に青葉 山ほととぎす 初がつお」と、ついで一句を思い出した。

この句が詠まれたのは何年頃なのか分らないが「新緑の快進進季節になった、春の旬の味覚がいい時だ」とでも言うように、四季の移り変わりと旬の味は自然体で流れていた。しかし日本経済が高度成長をとげ、国民の生活も豊かになって飽食が問われる昨今、一年中どんな魚も野菜も果物も出回っていて、季節感が薄れて味気無くなってしまう。外国からの輸入自由化の影響もあってか、一部ではあるが少しでも高く売れる季節外れの物を作ろうとする。それが貴重なエネルギーのムダ使いに繋がっては居ないだろうか。生産効率を上げ、需要と供給のバランスを満たすためには、ハウス栽培や水耕栽培、魚類の養殖など欠かす事は出来ない。スーパーなどでは、太さも長さも色合いも規格化された青物が並ぶ。商品価値とか消費者のニーズとか言われるが無駄な事をし

ている。見掛けさえ良ければいい商品と思う消費者にも問題ありである。ましてその物の旬が何時であるかも分からない人々が多くなつて来たのは残念なことである。四季それぞれの食材は不揃いでも、形が悪くても味も栄養価も変わりは無いが何より太陽の光を一杯吸収した無農薬の旬の路地物が一番うまい事は間違いない。

近頃、自然破壊、環境破壊問題に国民の関心が高まっている。そのため健康重視からか自然食・健康志向者が増えている。山善の山田社長は強度の自然食こだわり人間。主食の米は「発芽玄米」長野産コシヒカリの玄米を発芽前にバックして販売されて居るもの。白米感覚で食べられビタミン・ミネラル・食物繊維など白米の五倍強で栄養バランス最高。味噌・醤油は国内産大豆を手作りで仕込み三年以上熟成させたもの。仕込みに必要な塩は千米以上の深海から汲み上げ手作業の天日干し塩。調理や飲み水は大垣の水、と並ではない。健康維持は日々努力の積み重ね。自然食を考え直そう。

四月二十八日 (木) 晴
三三八号 編集会議
委員 七名 出席
午後五時終了 (S)